

2010 年

11 月 20 日（土曜日） はんなりと育み盛り上げよう！ - 「第 33 回府民総体 バスケットボール大会」 -

本日、「第 33 回府民総体 バスケットボール競技の部二次大会」が府内各地から男女合わせて 16 チームの選手の皆さんや関係さんの皆さんを京丹後市にお迎えし、開催できますことを大変喜ばしく思いますとともに、心から歓迎を申し上げます。また、バスケットボール協会の関係者の皆さんには大会運営へのご尽力に心から感謝を申し上げます。

バスケットボールを巡っては、平成 17 年にプロフェッショナルの BJ リーグが創設され、全国で 16 チームが誕生した中に、京都府を本拠にして「京都ハンナリーズ」が生まれ、現在も全国的に活躍しておられます。バスケットボールは、京都に本拠を置くプロスポーツチームの中では、サッカーに次いで 2 番目のプロスポーツチームであり、また、高校バスケットでも現在、洛南高校が全国で常時上位を競う強豪校で高校バスケットの聖地の一つでもあります。そんな点からは、京都が愛情を注ぎ、育むスポーツの大きな一つが、紛れもなくバスケットボールです。

プロチームの愛称の「はんなり」は、京言葉で“上品で明るく華やか”という京都を一面、象徴するような意味で、京都文化の継承に役立ちたいという想いを込められて命名されたとお聞きします。今日の大会は、バスケットを愛する府民の皆さんの大会です。それぞれのチームの皆さんには日頃の成果をいかんなく発揮していただきそれぞれの目標を達成していただきたいと思ひますし、それとともに、この大会を通じて、京都の大切なスポーツ文化であるバスケットボールを“はんなり”とますます育み、盛り上げてまいりたいと願っています。